








学 習 指 導 案

教科 (科目)	地理歴史 (世界史B)	授業者	教諭 本間 靖章
日 時	令和元年10月24日 (木曜日) 第2校時	場所	3-5教室 教室
使用教科書	『詳説 世界史B』(帝国書院)、『最新世界史図説 タペストリー』(帝国書院)		
単 元 名	主権国家体制の確立	3年457組選択	男子 20名 女子 12名 32名

1 単元の指導計画 単元を中心とする問い：主権国家の形成は私たちの生活に何をもたらしたのだろうか

次程	中心となる問い	評価の観点				授業の目標
		関	思	技	知	
第1次	ヴェストファーレン条約の歴史的意義とは何か		○			ヴェストファーレン条約が初めて、対等な主権国家による国際条約であったことを正しく読み取る
第2次	スチュアート朝の専制に対し議会はどのような対応を取ったか				○	スチュアート朝成立からピューリタン革命発生までの経緯を正しく理解する。
第3次	イギリスにおける議会と国王の関係はどのようなものとなったか				○	“国王は君臨すれども統治せず”の原則が確立した経緯を正しく理解する。
第4次	ルイ14世以後のフランスが財政難に陥るのはなぜか		○			ナントの勅令廃止、対外戦争等の状況から、自分が最も重要と思われる要因を根拠を持って説明できる。
第5次	プロイセンとオーストリアが争ったのはなぜか			○		神聖ローマ帝国内の地位と、地図から二つの戦争の原因を読み取ることが出来る。
第6次	根室にラクスマンが派遣された背景にはどのような政策があったのか				○	ロシアの領土拡大において、ロシアが根室に求めたものを正しく理解することが出来る。
第7次	自分と他を隔てている境界線にはどのようなものがあり、どうすればそれを越えることが出来るか	○			○	国境、エスニーなど様々なボーダーが紛争をもたらしたことを踏まえ、自分と境界線がどう付き合えばいいかを考察することが出来る。

2 本時 (第1次) の学習指導案

段階	指導内容	学 習 活 動		育成を目指す 主な資質・能力	指導上の留意点 評価の観点
		教師の活動	生徒の活動		
導入 5分	人間は国境の壁を越えることが出来るのだろうか ○本時の問い提示 ○授業の準備	○PPTとワークシートで本時の問いを生徒に伝える	○本時の問いを聴きすべきことを理解する	傾聴力 	○授業を受ける物心両面の準備が出来たか
展開 30分	【問1】歴史上もっとも対外戦争が多かったのはいつか ○ワーク① 戦争への仮説	○ラウンドロビンにより、対外戦争を列挙させ、グルーピングを元に仮説を立てさせる。	○順番に対外戦争をあげる ○話し合いにより、自分たちの仮説を立てる	協働力 	○根拠のある仮説を立てることが出来たか
	【問2】主権国家の形成と戦争にはどのような関係があるか ○ワーク②③ 主権国家と戦争	○ワークへの取り組みを指示し計時する。(個人3分→グループ4分) ○話し合いがスムーズではないグループへ声掛けをする	○資料①を読み解いて自分の考えをまとめる。 ○自分の考えを報告し合い、新しい発見により、考えを深める(ワーク②③同様の動き)	発信力 傾聴力 協働力   	○資料を正しく読み解き、自分の考えをまとめることが出来たか (技能) ○積極的に議論に参加し、自分の意見を出すことが出来たか (関・意・態)
	【問3】国境がなくなれば、紛争はなくなるのか ○ワーク④ エスセントリズム	○ワーク④への取り組みを指示し計時する。(個人4分)	○資料⑤を読み解いて自分の考えをまとめる。		○資料を正しく読み解き、自分の考えをまとめることが出来たか (技能)
まとめ 10分	“自分と他を隔てている境界線”をどうやって乗り越えるのか ○まとめ境界線との付き合い方	○まとめへの取り組みを指示し計時する (個人3分→グループ5分)	○自分の考えをまとめ記述する ○話し合いから考えを深化させ、誰もが受け入れられる解を追求する。	社会性 創造性  	○歴史を元に分ごととして問題を捉え考察し、議論が出来たか (関・意・態)

単元まとめ（主権国家体制の確立）

人間は国境の壁を
越えることが出来るのだろうか

1. 今日の日標

本時の問い：

人間は国境の壁を
越えることができるのだろうか


近世のヨーロッパはでは、新しい国家のあり方として現在まで続く主権国家（絶対王政／社団国家→国民国家）が形成された。主権国家の形成は私たちの生活に何をもたらしたのか、自分の見解を持ちましょう。



2. 下準備（ワーク①）

頭の体操

対外戦争にはどのようなものがあったかを思い出してみる。

- ①誕生日が一番早い人から時計回りの順
 - ②20秒の時間内に対外戦争の名称と簡単な概要を伝える（メモってね）。
 - ③3周するので計12個の戦争名が出ます
- 

2. 下準備（ワーク①）

グループ作業（5分）

- 出てきた戦争を時代別に分けます。
- 今まで学習したことを思い出し、対外戦争が最も多いと思われる時期（古代～現代）はいつか、根拠を示して予想しましょう。
- グループの意見として合意してまとめて下さい。



2. 中世から近代の対外戦争

ワーク②（個人3分→グループ4分）

1. グラフの示す特徴の読み取り

2. 知っている知識を元に、なぜそのような特徴を示すのか、理由をまとめよう

読み取る特徴は多ければ多い方が良いです。



3. 近世の人の国境観

ワーク③（個人2分→グループ3分）

テキストから国境と戦争をどうとらえていたかを読み取る

パスカル

人物画像

パスカル（1623～1662）、仏

科学者・数学者・哲学者として知られる。“パスカルの原理”や“パスカルの定理”を発見。

主著『パンセ』で“人間は（中略）考える葦である”と人間を定義づけたことでも知られる。

4. 国境がなくなれば紛争はなくなるか

ワーク④（個人4分）

「国境をなくすことにより紛争をなくすことは可能か」

資料⑤を読み、上記の問いに対して自分の見解をまとめよう



4. 国境がなくなれば紛争はなくなるか

まとめ（個人5分→グループ5分）

自分の経験から

自分と他を隔てる境界線にはどのようなものがあるか考えてみよう

今日学んだことから

その境界線どう向き合い、境界線を衝突なく乗り越えるためにはどうすればよいのか、歴史を教訓に考えてみよう

境界線の向こう側へ ～主権国家と国境

【ワークシート編】

単元の問い

主権国家の形成は私たちの生活に何をもたらしたのだろうか

単元の目標

- ・主権国家形成期（絶対主政/社団国家）における、各国の政治体制と国際関係を正しく理解する。
- ・主権国家がもたらした“国境”“国民”とどう向き合っていくべきか、自分の考えを持つ

本時の問い

人間は国境の壁を越えることができるのだろうか

本時の目標

- ・主権国家の確立と対外戦争の間には、どのような因果関係があるのかを資料から読み取ることが出来る。
- ・人間にとって境界線がどのような意味を持ち、その境界線とどう付き合えばいいの自分なりの見解を持つ。

ワーク① 一人一つずつ順番に、対外戦争にはどんなものがあったか上げてみよう。（3周）

出てきた戦争12個を起こった時代別に分類してみよう。

古代	中世	近世	近代	現代
----	----	----	----	----

自分たちのグループで一番多かったのは_____だった。

仮説を立てよう

対外戦争が最も多い時期は_____だと思われる

なぜなら、_____だからだ。

ワーク② 資料①が示している、対外戦争発生件数の特徴を読み取り、なぜそのような特徴を示したと思われるか、学んだことを元に考えてみよう。

個人

グループ

ワーク③ 資料②から、主権国家形成期の人たちは国境と戦争の関係をどのようにとらえていたか読み取ろう。

個人

グループ

自分以外のグループメンバー

年 組 番 氏名

ワーク④ 資料③④から、歴史上人間はあらゆる種類の境界線を作ってきたことが分かる。国境をなくすことで紛争をなくすことは出来るだろうか。資料⑤を参考に、国境の相対化がもたらしたものを読み取り、可否に対する自分の考えをまとめなさい。

【まとめ】境界線を越えるために

これまで学んだことや考えたことを元に、自分が実際に感じたことがある“自分と他を隔てている境界線”にはどんなものがあり、どうすればその境界線を乗り越えることが出来ると思うか考えてみよう。

個人

グループ

【感想】今日の授業を通して考えたこと

各項目に対して、該当すると思われるものに○をつけよう（ConnectionやExtensionsが増えるといいね）

	Ideas（知識）	Connection（つながり）	Extensions（応用・発展）
資料の読み解き	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読んで、必要な情報を正確に読み取り、理解することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取ったことを、これまで学んだ知識と結び付けて考察し、主権国家についての理解を深めることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み取ったことや歴史の知識を元に現在の社会や自分の周囲について考察し、根拠のある問題の解決法を人に説明することが出来た。
歴史や事件の用語	<ul style="list-style-type: none"> 近世に起こった戦争をはじめ、資料に出てくる用語や事件が、何を意味するのか分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習した歴史や政治の用語を今日の資料の中に正しく位置付けて理解し、考えることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上起こった出来事と出来事の間を通し、大きな物語の中に位置付けることによって、出来事に新しい意味づけをすることが出来た。
話し合い・記述	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを文章にしてまとめ、メンバーに伝えることが出来た。 話し合いで、相手の言いたいことをくみ取ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと相手の考えの共通点と相違点がどこにあり、なぜそうなるかを話し合うことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見と相手の意見を総合して、メンバーと協力してより高度な新しいアイデアを生み出すことが出来た。

